

飯田歯科医院

医療法人社団一典会

東京都板橋区大山町6-9 松本ビル2F

TEL/FAX.03-3955-6787

http://www.iidashika.com/shika/

対談

院長

飯田 恩

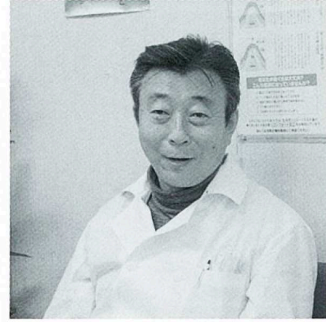
インタビュー

藤波 辰爾

【無我ワールド・プロレスリング代表取締役】

INTERVIEW
ON IIDA × TATSUMI FUJINAMI

「枕選び」と「医食同源」の推奨で、患者さんの健康をサポートする



藤波 先程、受け付けでスタッフが患者さんとお話ししている様子を拝見しまして、コミュニケーションを大切にされているクリニックだと感じました。

飯田 嬉しいお言葉ですね。どんな職業、商売であつても人と人の繋がりで成り立っているわけですからコミュニケーションは大切です。私自身も心掛けていますが、スタッフにも常々「コミュニケーション力を磨きなさい」とアドバイスしています。

藤波 ところで、こちらのホームページに紹介されていた「枕」と「医食同源」というコラムに好奇心を募らせて参りましたが、詳しくお聞かせ頂けますか。

飯田 まず本題に入る前に質問ですが、藤波さんは歯槽膿漏をどの部分の病気だと思つていらっしゃいますか。

藤波 歯茎の病気で、毎日の正しいブラッシングが予防に繋がるものだ。

飯田 実は、歯槽膿漏は顎の骨の病気なのです。「顎の骨が減り始めています」というサインが歯茎に出て、歯茎が腫れたり膿が出たり、歯がぐらついたりするわけです。口中の出血はブラッシングにより一時的に治まりますが、原因の解消には繋がりません。根本的な治療に必要なことは噛み合わせを整えた上で骨の血流を改善することです。

藤波 骨にも血液が流れているのですか。

飯田 ええ、新鮮な血液は健康な体を保つために骨にも様々な栄養分を運んでくれます。しかし、血液の流れが滞りますとその部分の抵抗力・免疫力が落ちて細胞自体が突然変異を引き起こしやすくなってしまうのです。

藤波 顎の骨の血流を良くする方法といえますか。

飯田 ここからが本題となりますが、人は誰でも寝ている間に寝返りを打ち、歯軋りもします。適度な歯軋りはストレス解消にも繋がります。歯の骨に負荷を掛けることで顎の骨が育てられるという効用もあるのですが、逆にグーツと噛み締める歯軋りは骨の中の血の巡りを悪くし、骨の老化を早めますので予防策が必要となります。

藤波 なるほど。患者さんがどういった歯軋りをしているか調べることはできるのでしょうか。

飯田 口腔全体を撮影したレントゲン写真で診断できます。害になる歯軋りが診られる患者さんの中には歯の噛み合わせが悪く歯列矯正が必要なる方もおられますが、まずは「枕」を持参して頂きます。口腔内の血の巡りや顎の骨の老化には睡眠中の枕の使用法やその素材に起因するところがあり、不合格と判断した場合には「枕」を変えるようアドバイスして枕の当て方や寝相の指導も行なっています。一般的には首の支えられる枕が良いのですが、人それぞれ適合する枕は違つてきますね。

藤波 「枕」は毎日使うものですし、おろそかにできない存在だったんですね。では「医食同源」についても教えてください。

飯田 《人間の健康は食事が決まる》これは古今東西に普遍的な道理です。当院では、私自身が実践している食生活をベースに患者さんにも常食してほしい食べ物をお勧めしています。その代表食が納豆と煮干です。納豆にはカルシウム分が豊富に含まれおり、血

流を良くする働きだけでなく殺菌効果にも大変優れています。煮干は頭と腹を取つてそのままじり、ギョツギョツと咬むことにより噛み合わせを整えて顎の骨に負担を与えます。この二品を毎日欠かさず食すだけで丈夫な骨に育ちますよ。ファスト・フードを好む子供達や若い世代の人々、単身生活で食生活が疎かになりがちなたたに「納豆と煮干の常食を」と、切に願っています。

藤波 歯だけでなく身体の健康にも配慮した個性的な診療方針で、患者さんからの信頼も厚いことですね。最後に院長の夢、今後の展望をお聞かせ下さい。

飯田 これからも患者さんが健康でいられるよう予防歯科治療にも力を入れていき、同時に私自身も健康に留意して笑いの絶えない地域に根差した歯科医院でありたいと願っています。

藤波 「笑いは健康の源」とも言います。院長を始め、スタッフの皆さんのますますのご奮闘に心から期待しております。

①INFORMATION

